



Yuken Teruya
Die Zauberflöte

照屋勇賢 魔笛

モーツァルトの魔笛を現代に
「魔笛」を制作するにあたり、
モーツァルトの音楽を現代に
「魔笛」を制作するにあたり、
モーツァルトの音楽を現代に

照屋勇賢「魔笛」を上演するにあたり、
モーツァルトの音楽を現代に
「魔笛」を制作するにあたり、
モーツァルトの音楽を現代に

那覇文化芸術劇場なは一ト
NAHA CULTURAL ARTS THEATER NAHA1



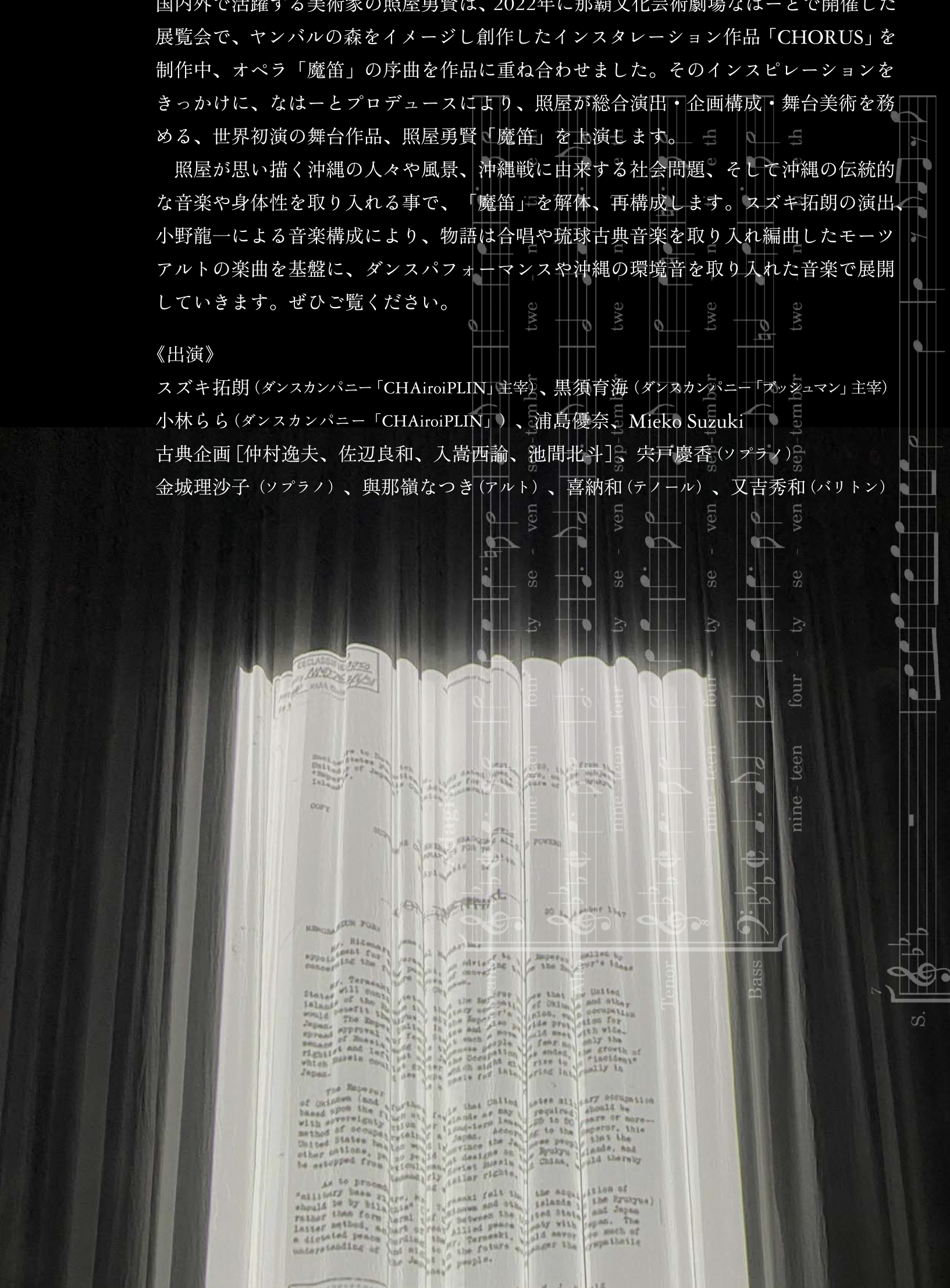
Yuken Teruya
Die Zauberflöte

照屋勇賢 魔笛

モーツァルトの魔笛を現代に
「魔笛」を制作するにあたり、
モーツァルトの音楽を現代に
「魔笛」を制作するにあたり、
モーツァルトの音楽を現代に

照屋勇賢「魔笛」を上演するにあたり、
モーツァルトの音楽を現代に
「魔笛」を制作するにあたり、
モーツァルトの音楽を現代に

那覇文化芸術劇場なは一ト
NAHA CULTURAL ARTS THEATER NAHA1



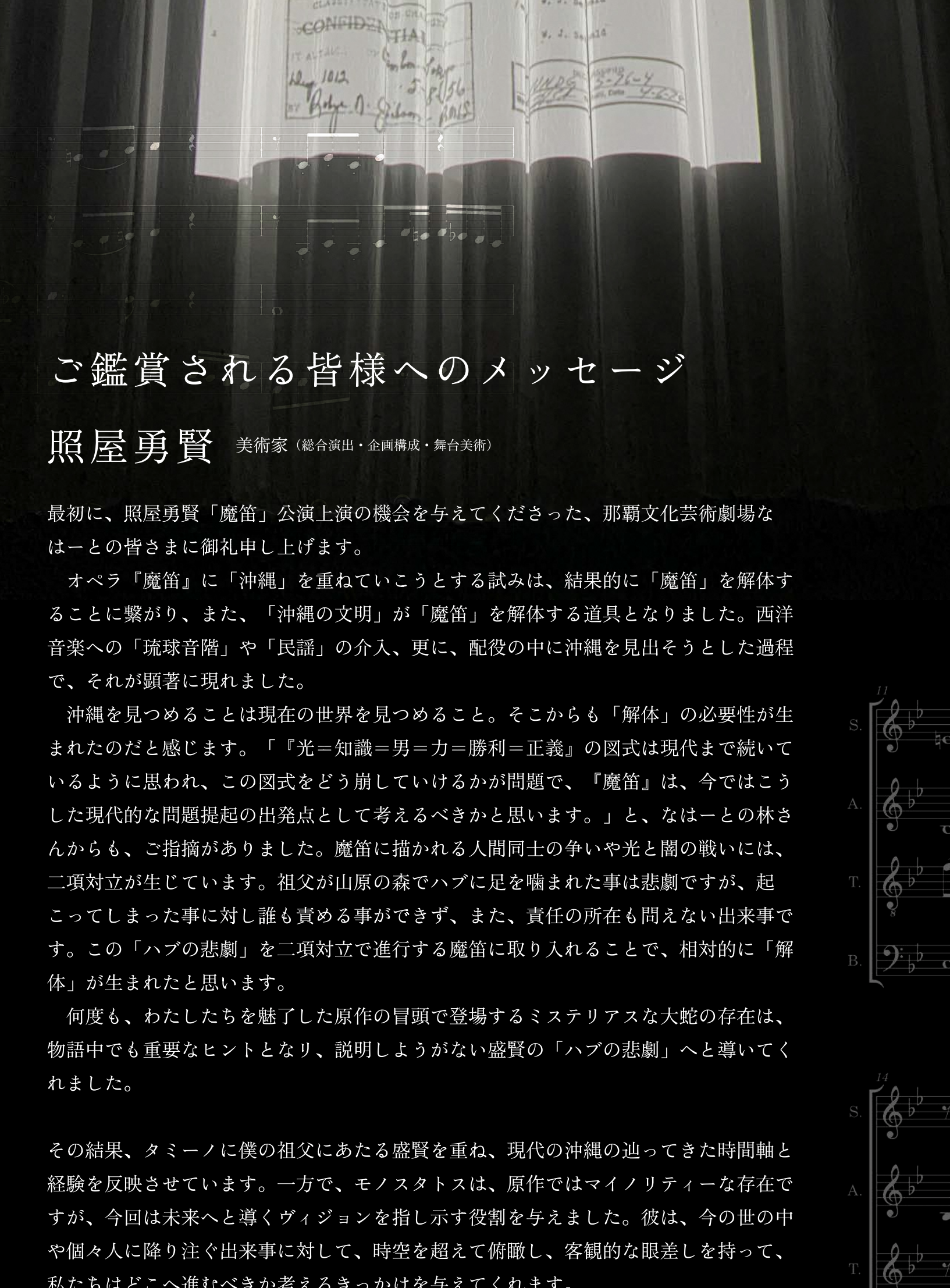
Yuken Teruya
Die Zauberflöte

照屋勇賢 | 魔笛

国内外で活躍する美術家の照屋勇賢は、2022年に那覇文化芸術劇場なは一トで開催した
展覧会で、ヤンバルの森をイメージし創作したインスタレーション作品「CHORUS」を
制作中、オペラ「魔笛」の序曲を作品に重ね合わせました。そのインスピレーションを
きっかけに、なは一トプロデュースにより、照屋が総合演出・企画構成・舞台美術を務
める、世界初演の舞台作品、照屋勇賢「魔笛」を上演します。

照屋が思い描く沖縄の人々や風景、沖縄戦に由来する社会問題、そして沖縄の伝統的
な音楽や身体性を取り入れる事で、「魔笛」を解体、再構成します。スズキ拓朗の演出、
小野龍一による音楽構成により、物語は合声や琉球古典音楽を取り入れ編曲したモツ
ァルトの楽曲を基盤に、ダンスパフォーマンスや沖縄の環境音を取り入れた音楽で展開
していきます。ぜひご覧ください。

【出演】
スズキ拓朗 (ダンスカンパニー「CHAiROIPLIN」) 主演、黒須育海 (ダンスカンパニー「アップルマン」) 主演
小林らら (ダンスカンパニー「CHAiROIPLIN」)、高橋優奈 Miko Suzuki
古典企画 [仲村逸夫、佐辺良和、入富西諭、池間北斗]、矢野慶音 (アップルマン)
金城理沙子 (ソプラノ)、興那嶺なつき (アルト)、喜納和 (テノール)、又吉秀和 (バリトン)



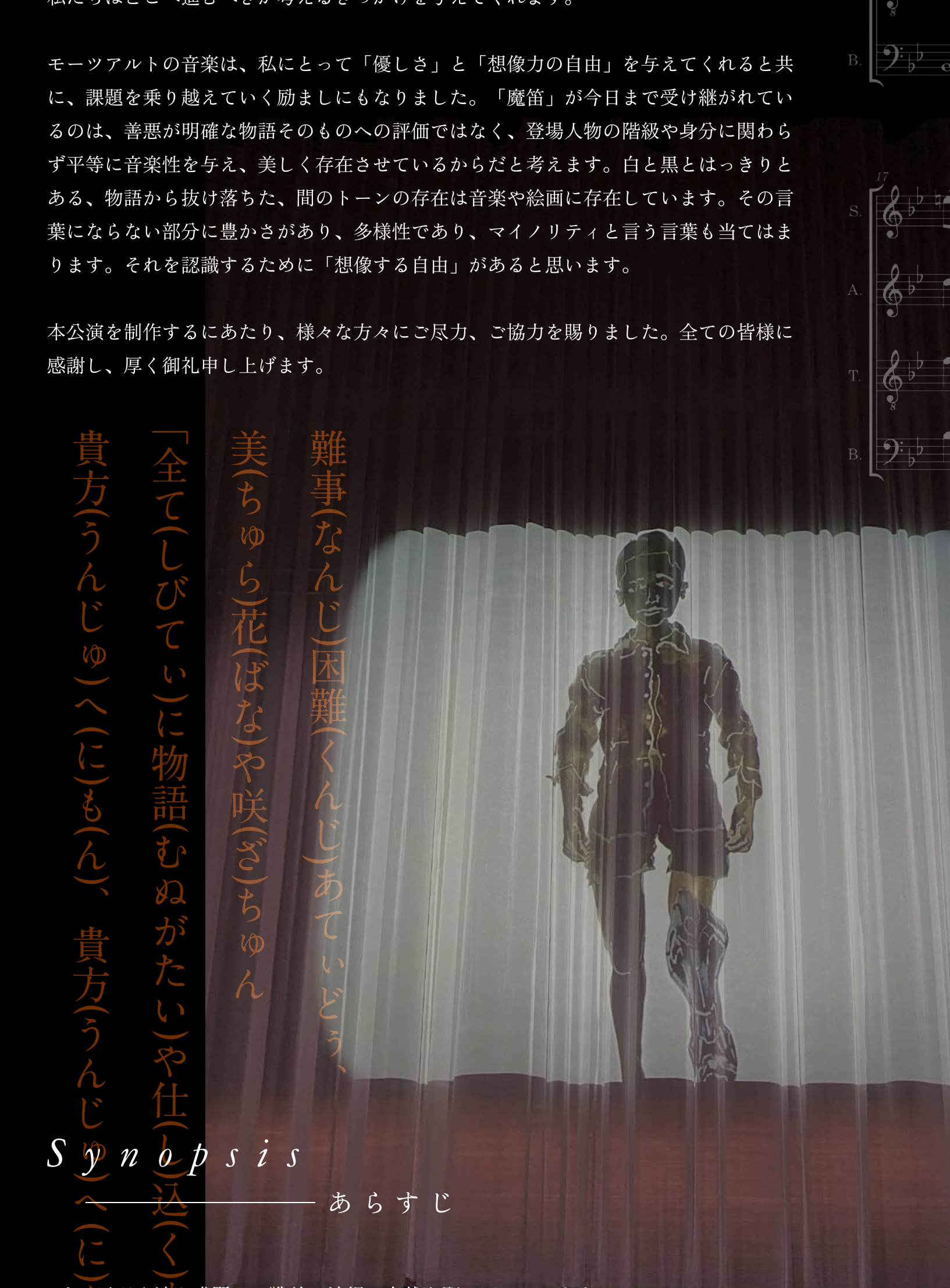
Yuken Teruya
Die Zauberflöte

ご鑑賞される皆様へのメッセージ

照屋勇賢 美術家 (総合演出・企画構成・舞台美術)

最初に、照屋勇賢「魔笛」公演上演の機会を与えてくださった、那覇文化芸術劇場な
は一トの皆さまに御礼申し上げます。

オペラ「魔笛」に「沖縄」を重ねていくという試みは、結果的に「魔笛」を解体する
ことに繋がり、また、「沖縄の文明」が「魔笛」を解体する道具となりました。西洋
音楽への「琉球音階」や「民謡」の介入、更に、配役の中に沖縄を見出そうとした過程
で、それが顕著に現れました。



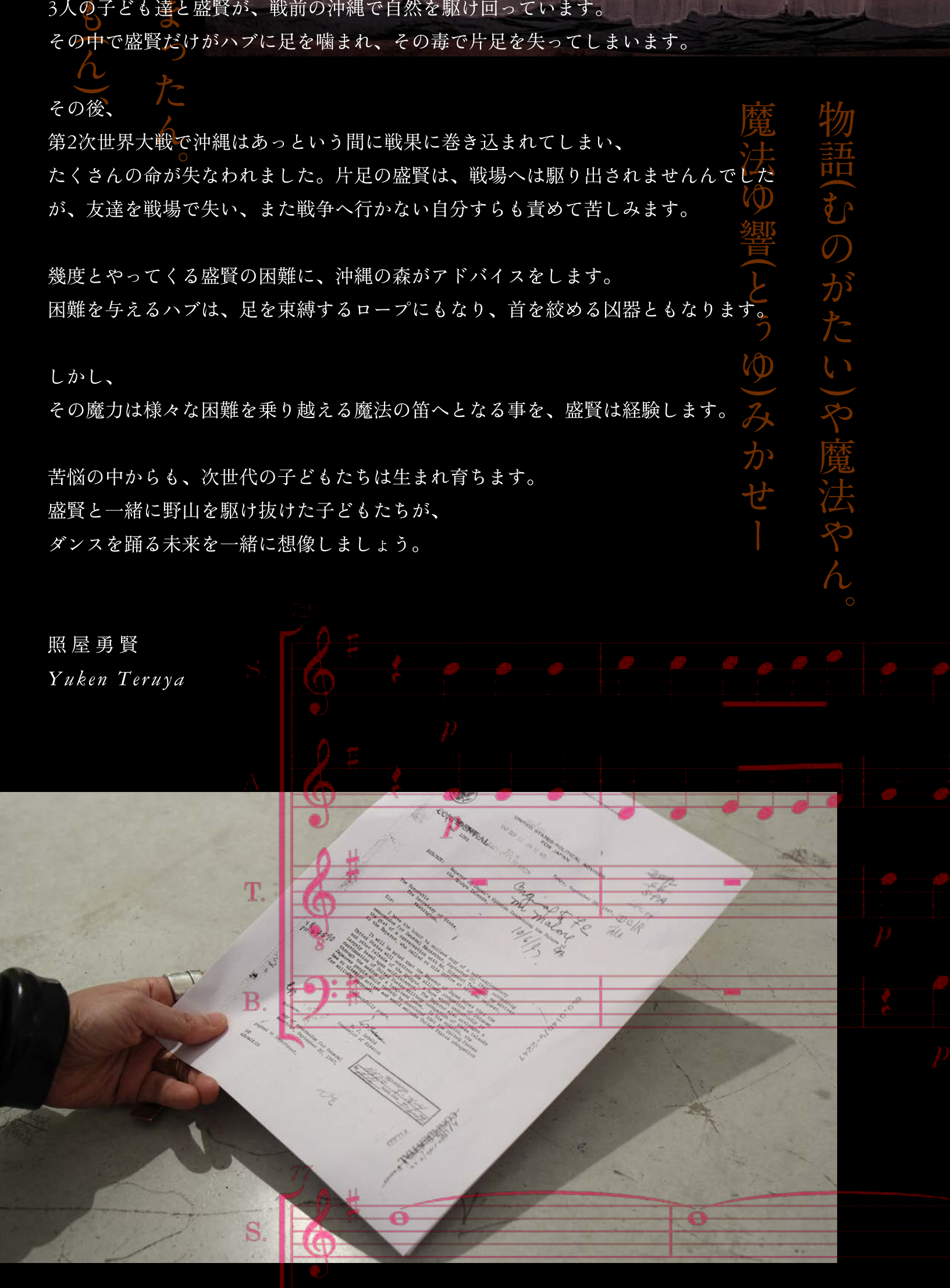
Yuken Teruya
Die Zauberflöte

魔法の響けしうゆみかせ

その結果、タミーノに僕の祖父にあたる盛賢を重ね、現代の沖縄の迎ってきた時間軸と
経験を反映させています。一方で、モノスタスは、原作ではマイノリティーな存在で
すが、今回は未来へと導くヴィジョンを暗示する役割を与えました。彼は、今の世の中
や個人に降り注ぐ出来事に対して、時空を超えて俯瞰し、客観的な眼差しを持って、
私たちはどこへ進むべきか考えるきっかけを与えてくれます。

モーツァルトの音楽は、私にとって「優しさ」と「想像力の自由」を与えてくれると共に
、課題を乗り越えていく励みにもなります。「魔笛」が今まで受け継がれて
いるのは、善悪が明確な物語そのものへの評価ではなく、登場人物の階級や身分に関わ
らず平等に音楽性を与え、美しく存在させているからだと考えます。白と黒とはっきりと
ある、物語から抜け落ちた、間のトーンが存在は音楽や絵画に存在しています。その言
葉にならない部分に豊かさがあふれています。魔笛に描かれる人間同士の争いや光との戦いには、
二項対立が生じています。祖父が山原の森でハブに足を噛まれた事は悲劇ですが、起
こってしまった事に押し負かされる事ができず、また、責任の所在も問えない出来事
です。この「ハブの悲劇」を二項対立で進行する魔笛に取り入れることで、相対的に「解
体」が生まれたと感じます。

何度も、わたしたちを魅了した原作の冒頭で登場するミステリアスな大蛇の存在は、
物語中でも重要なヒントとなり、説明しようがない盛賢の「ハブの悲劇」へと導いて
くれました。



Yuken Teruya
Die Zauberflöte

Synopsis

あらすじ

3人の子も達と盛賢が、戦前の沖縄で自然を駆け回っています。
その中で盛賢だけがハブに足を噛まれ、その毒で片足を失ってしまいます。
その後、
第2次世界大戦で沖縄はあっという間に戦場に巻き込まれてしまい、
たくさんの命が失なわれました。片足の盛賢は、戦場へは駆り出されませんが、
が、友達を戦場で失い、また戦争へ行かない自分すらも責めて苦しみます。

幾度とやってくる盛賢の困難に、沖縄の森がアドバイスをします。
困難を与えるハブは、足を束縛するロープにもなり、首を絞める凶器ともなります。
しかし、
その魔力は様々な困難を乗り越える魔法の笛となる事を、盛賢は経験します。



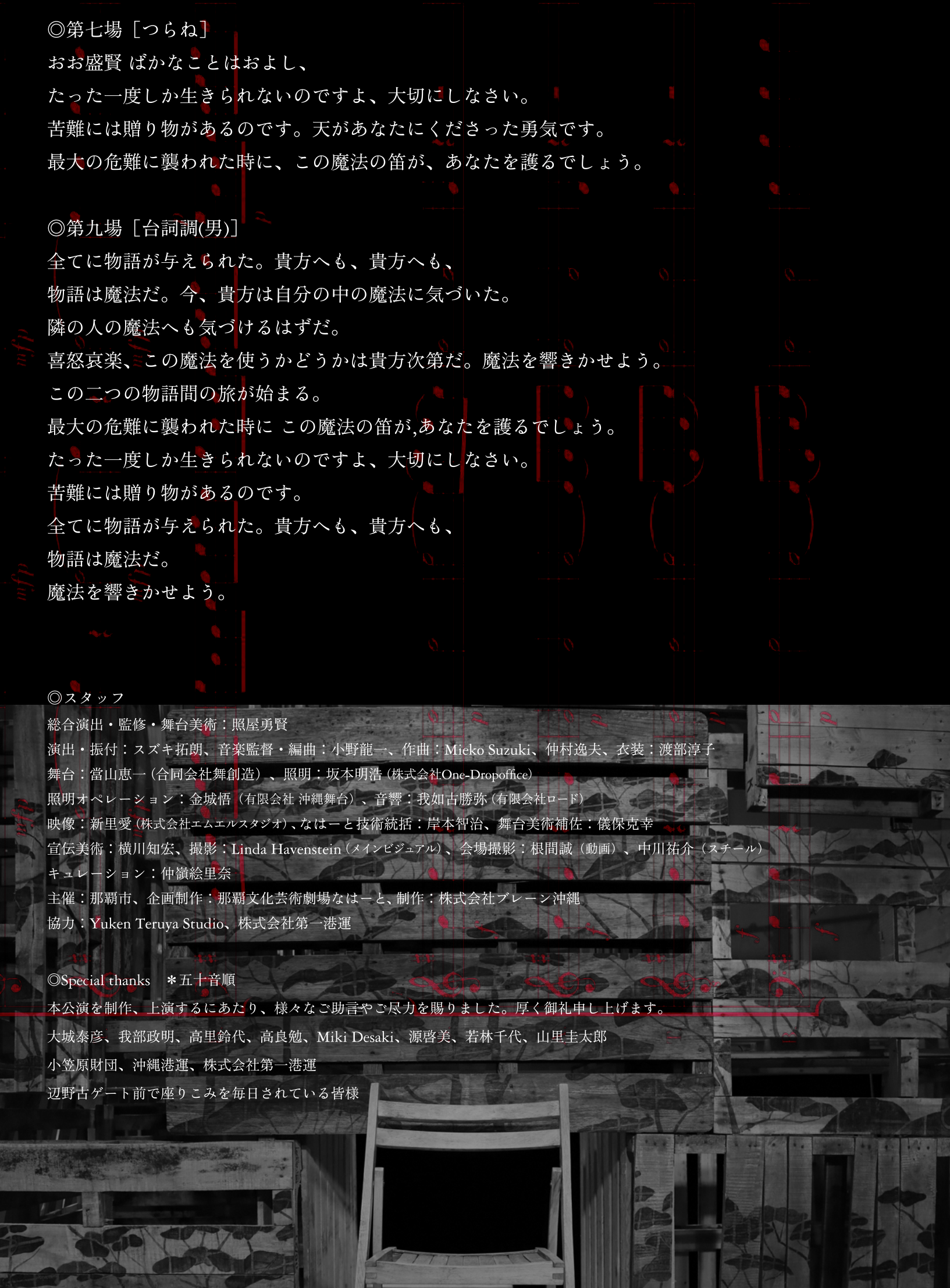
Yuken Teruya
Die Zauberflöte

モノスタス台詞／意識

◎開演前【唱え (男) と台詞調】
私は物語を創造する者です。
強い者、弱い者、喜び、悲しみ、全てに物語を与える。
私はどこにも属さない。
小さい者、大きい者、悪い人、善い人、物語は響き合う。
今日の前に、盛賢の物語と、魔笛の物語がこの時空に存在している。
今の沖縄をみていると、この二つの物語間の旅が始まる。

◎第二場【唱え (女)】
お王子よ、この贈り物は、女王様があなたにくださったものです。
最大の危機に襲われた時にこの魔法の笛が、あなたを護るでしょう。

◎第四場【唱え (男) と現代語】
普天間基地の1日も早い危険性除去には、
辺野古移設という魔法が唯一の解決策



Yuken Teruya
Die Zauberflöte

魔法の響けしうゆみかせ

◎第七場【つらね】
お盛賢 ばかなことはお話し、
たった一度しか生きられないのですよ、大切にしない。
苦難には贈り物があるのです。天があなたにくださった勇氣です。
最大の危機に襲われた時に、この魔法の笛が、あなたを護るでしょう。

◎第九場【台詞調(男)】
全てに物語が与えられた。貴方へも、貴方へも、
物語は魔法だ。今、貴方は自分の中の魔法に気づいた。
隣の人の魔法へも気づけるはずだ。
喜怒哀楽、この魔法を使うかどうかは貴方次第だ。魔法を響かせよう。
この二つの物語間の旅が始まる。
最大の危機に襲われた時にこの魔法の笛が、あなたを護るでしょう。
たった一度しか生きられないのですよ、大切にしない。
苦難には贈り物があるのです。
全てに物語が与えられた。貴方へも、貴方へも、
物語は魔法だ。
魔法を響かせよう。

◎スタッフ
総合演出・監修・舞台美術：照屋勇賢
演出・振付：スズキ拓朗、音楽監督・作曲：小野龍一、作曲：Miko Suzuki、仲村逸夫、衣装：渡部淳子
舞台：高田恵 (合同会社舞臺造)、照明：坂本博浩 (株式会社One-Design)、
照明オペレーション：金城剛 (有限会社 神楽舞台)、音響：我知吉博光 (有限会社ロード)
録音：新里愛 (株式会社エム・エス・エス)、技術支援：世木智浩、舞台美術補佐：豊原立幸
音楽美術：横川知宏、撮影：Linda Havensstein (スタジオ・アール)、会場撮影：根間誠 (映画)、中川祐介 (オナー)
キャスト：小野龍一、佐辺良和、入富西諭、池間北斗、矢野慶音、金城理沙子、興那嶺なつき、又吉秀和、喜納和、黒須育海
主催：那覇市、企画制作：那覇文化芸術劇場なは一ト、制作：株式会社プレミン沖縄
協力：Yuken Teruya Studio、株式会社第一港運
那覇市古賀町1丁目1番1号 那覇文化芸術劇場なは一ト



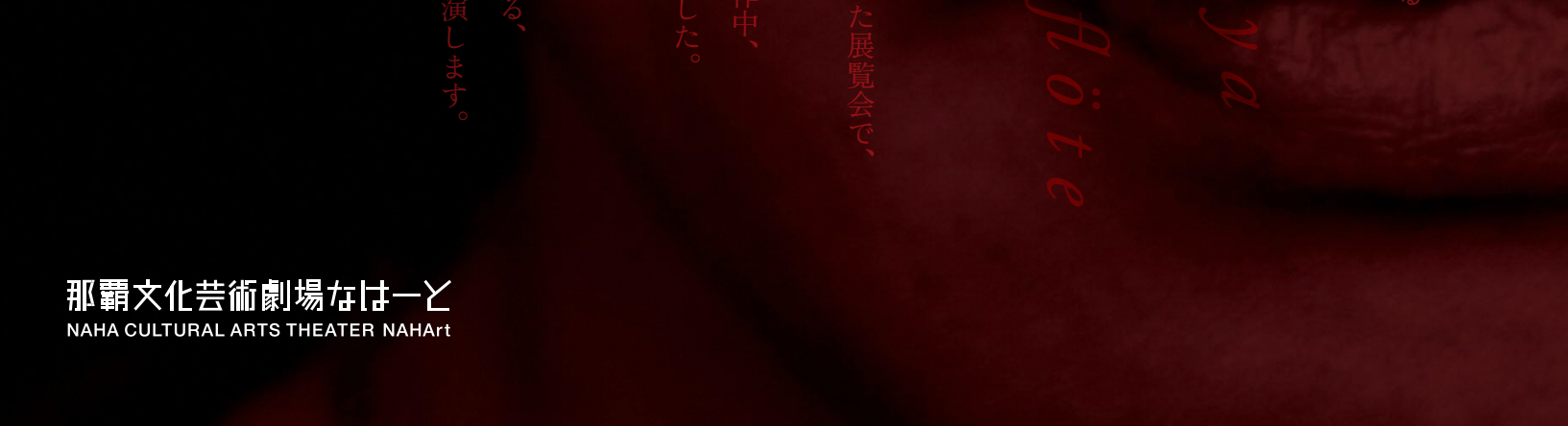
Yuken Teruya
Die Zauberflöte

魔法の響けしうゆみかせ

国内外で活躍する美術家の照屋勇賢は、2022年に那覇文化芸術劇場なは一トで開催した
展覧会で、ヤンバルの森をイメージし創作したインスタレーション作品「CHORUS」を
制作中、オペラ「魔笛」の序曲を作品に重ね合わせました。そのインスピレーションを
きっかけに、なは一トプロデュースにより、照屋が総合演出・企画構成・舞台美術を務
める、世界初演の舞台作品、照屋勇賢「魔笛」を上演します。

照屋が思い描く沖縄の人々や風景、沖縄戦に由来する社会問題、そして沖縄の伝統的
な音楽や身体性を取り入れる事で、「魔笛」を解体、再構成します。スズキ拓朗の演出、
小野龍一による音楽構成により、物語は合声や琉球古典音楽を取り入れ編曲したモツ
ァルトの楽曲を基盤に、ダンスパフォーマンスや沖縄の環境音を取り入れた音楽で展開
していきます。ぜひご覧ください。

【出演】
スズキ拓朗 (ダンスカンパニー「CHAiROIPLIN」) 主演、黒須育海 (ダンスカンパニー「アップルマン」) 主演
小林らら (ダンスカンパニー「CHAiROIPLIN」)、高橋優奈 Miko Suzuki
古典企画 [仲村逸夫、佐辺良和、入富西諭、池間北斗]、矢野慶音 (アップルマン)
金城理沙子 (ソプラノ)、興那嶺なつき (アルト)、喜納和 (テノール)、又吉秀和 (バリトン)



Yuken Teruya
Die Zauberflöte

魔法の響けしうゆみかせ

国内外で活躍する美術家の照屋勇賢は、2022年に那覇文化芸術劇場なは一トで開催した
展覧会で、ヤンバルの森をイメージし創作したインスタレーション作品「CHORUS」を
制作中、オペラ「魔笛」の序曲を作品に重ね合わせました。そのインスピレーションを
きっかけに、なは一トプロデュースにより、照屋が総合演出・企画構成・舞台美術を務
める、世界初演の舞台作品、照屋勇賢「魔笛」を上演します。

照屋が思い描く沖縄の人々や風景、沖縄戦に由来する社会問題、そして沖縄の伝統的
な音楽や身体性を取り入れる事で、「魔笛」を解体、再構成します。スズキ拓朗の演出、
小野龍一による音楽構成により、物語は合声や琉球古典音楽を取り入れ編曲したモツ
ァルトの楽曲を基盤に、ダンスパフォーマンスや沖縄の環境音を取り入れた音楽で展開
していきます。ぜひご覧ください。

【出演】
スズキ拓朗 (ダンスカンパニー「CHAiROIPLIN」) 主演、黒須育海 (ダンスカンパニー「アップルマン」) 主演
小林らら (ダンスカンパニー「CHAiROIPLIN」)、高橋優奈 Miko Suzuki
古典企画 [仲村逸夫、佐辺良和、入富西諭、池間北斗]、矢野慶音 (アップルマン)
金城理沙子 (ソプラノ)、興那嶺なつき (アルト)、喜納和 (テノール)、又吉秀和 (バリトン)